

編集後記

「女性と人権」をテーマとする『研究紀要』第4号をお届けしたい。

2度の世界大戦の後も局地的な戦争が絶えることがなかったという意味で、20世紀は世界戦争の時代であり、世紀後半には人々がかつてない規模でグローバル経済の荒波に投げ込まれていった。21世紀には、文字どおり地球の存亡そのものをかけて、平和、公正、環境などの確立が切望される。「女性と人権」はその鍵を握る課題の一つであろう。本『研究紀要』第4号が、そのような時代の課題に応えることができているならば、編集に携わった一人として幸いである。もちろんその自負はなければならないとはいえ、読者の厳しくかつ温かい批評をお待ちする次第である。

本特集テーマを決定した時点から数えれば一年半以上に渡る作業の大部分は、天野正子前委員長の下で行われた。前委員長のもとでは、編集作業のサイクル化、査読・審査のルール作りはもとより、その運用についても、1号ごとに慎重に国立婦人教育会館の研究紀要にふさわしい着地点を探り、軌道に乗せてきた。会館が独立行政法人・国立女性教育会館として新世紀の再出発をとげる来年4月以降も、これまでに築いた地歩を引き継ぎ発展させることができるよう、紀要委員会として最善を尽くしたい。それにつけても欠かせないのは、まずこの『研究紀要』を読み、また寄稿してくださる方々、そして紀要委員以外の査読者の、紀要作りに対するより積極的な参画である。そのための一環として、平成13年2月25日(日)、セシオン杉並にて開催予定の「ヌエック公開シンポジウム」において、本号掲載の投稿論文執筆者による口頭発表を行うことにした。多くの方々のおいでをお待ちしている。

本号を編む過程では、特集テーマに対して17本の応募をいただき、結果的に論文3本と研究ノート1本を掲載するに至った。詳細なコメントを下された査読者、それに対して粘り強く原稿を改善された執筆者の方々に、改めて敬意を表したい。

紀要委員会委員長 大沢真理

国立婦人教育会館研究紀要 第4号

2000年11月 発行

編集・発行

国立婦人教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町大字管谷728

TEL 0493-62-6711 FAX 0493-62-6720

制作・印刷

株式会社 玄工房

〒112-0004 東京都文京区本郷3-2-7 本郷中井ビル8F・9F

TEL 03-3815-9276(代) FAX 03-3815-9275